

# 研究班番号【15】 漢字を感じろ～漢字が誘う当て字の世界～

15班:上杉 百音、牟禮 愛美

## Abstract

The purpose of this study is revealing the influence that kanji have on us. We found out that we can classify guessed characters into three parts by a survey of books which use a lot of them. We also learned that we can guess the meaning of words seen for the first time from the meaning of the kanji that composed them by a survey on the level of understanding of how to read the letters we created ourselves. Therefore, it was concluded that understanding the original meaning of kanji leads to creative conversations and rich language skills.

## 要約

本研究の目的は、”漢字”が私達に齎す影響について当て字を通して明らかにすることである。当て字を多く用いる本の調査によって当て字は3つに分類されることがわかり、自分たちで作成した当て字の読み方の理解度から、初見の単語でもそれらを構成する漢字の意味から単語の意味を推測できることがわかった。従って本研究では、漢字本来の意味の理解は、クリエイティブな会話や豊かな言語力に繋がるということが結論づけられた。

## 1. はじめに

歴史の教科書でカタカナ表記ばかりの資料を見た際に、漢字で表記されていないため、非常に読み解が困難であった。また、食べ物の当て字を見た際に、見たことのなかった単語であったが、構成されている漢字から、何を示しているか推測することができた。そのことから、漢字にはなにか読み手に与える影響力があるのではないか、と感じ、漢字についての興味を持った。そして、漢字への理解を深めることで、漢字の持つ読者に対する影響力について解明でき、更にそれを活かして自分たちで当て字を作成できるのではないかと考え、この研究をすることに決めた。

この研究の意義としては、近年、日本を訪れる外国人観光客の増加や日本の文化に対する海外からの注目がみされることから、他国の人々に対する日本文化のアプローチに本研究を繋げることができるのでないかと考える。具体的には、最近、外国人観光客の中で自分の名前に漢字を当てて印鑑を購入する人々が増えているが、そのような人々に、意味と発音記号を各言語で表記した漢字を提示し、自分の好むイメージで自分の名前の印鑑を作成できるようにすると、関心を持つ観光客が増え日本の経済活性化に繋げられるのではないかと考えた。また、観光客の割合の多くを占める中国・台湾からの観光客に関しては、繁体字・簡体字の違いはあるものの、ある程度は漢字が通じるのではないか、と思い、当て字を使用することで我々の伝えたいニュアンスを汲み取ってもらえるのではないか、と考えた。

## 2. 研究手法

当て字に関しての理解を深めるために以下の2つの調査を行った。

### 《実験1》

①作品に多くの当て字を用いる作家である泉鏡花が書いた、『雛がたり』『國貞えがく』『三尺角』『縁結び』の計4つの作品を読んだ。

②本を読んで見つけた当て字をジャンルごとに分類した。

### 《実験2》

①実験1で分類したジャンルごとに、「食べ物」をテーマにして班員で独自の当て字を作成した。

②本校生徒87名にアンケートを行い、①で作成した当て字の読み方と、そう読むと判断した理由を調査した。理由に関しては「勘」「音が似ていた」「漢字の意味から連想した」「その他(記述式)」の4つの項目を作成

した。

### 3. 結果

#### 《実験1》

作品に用いられている当て字は次の3つに分類された。

( i ) 外来語の読み ( ii ) 意味でつけられたもの ( iii ) 音でつけられたもの

本研究では、意味で当て字が作成されていても単語自体が外来語であれば(1)に分類されるものとする。

#### 《実験2》

##### 【作成した当て字とアンケート結果】

ジャンル	当て字	読み方	正答率
i	粒美小果	タピオカ	2.3%
ii	宝卵	いくら	18.4%
iii	粘々	オクラ	12.6%

読み方が正解していた人の、読み方の判断理由のアンケートに注目すると「漢字の意味から連想した」という意見が最も多かった。

### 4. 考察

結果より、正答率は低いものの全ての間で正答者が複数見られたことから、見たことのない単語が何を指示するかは、漢字の意味から推測することが可能であると考えられる。そのため、漢字一つひとつは「想像力を与える」という多大な「力」を持っており、我々は日々の生活でその影響力に支えられて豊かな言語力を身につけているのではないか、と考える。

また、漢字には複数の意味を持つものもあるため、併用される単語と結びつけて考えることで、我々がすぐにこの漢字がどのようなイメージを与えるために使われているのかを理解できることからも、漢字の持つ影響力は非常に大きく読解に関わっていることが推測できる。

今回のアンケートの正答率が低かった要因として、漢字の多義性が挙げられるのではないかと考える。多義性のある漢字を使用してしまうことで、多くの候補が浮かんでしまい一つに絞る決定力に欠け、正解にたどり着くことができなかつたのだと推測する。

のことから、アンケートの正答率を上げ、より多くの人々に伝わるような当て字を作成するためには、漢字の意味自体への理解だけでなく、人々の漢字に対するイメージについての理解も深めることが重要であるのではないか、と考えることができる。最近、熟語が本来の意味とは違った意味で認識されていることが多い中で、人々の間違った知識を本来のものに変え、用いられる漢字へのイメージを把握することが今後の主な課題であると考える。

### 5. 結論

漢字本来の意味は、読み手に多大な想像力を与え、一つひとつに繊細な意味やニュアンスが込められており、我々の豊かな言語力発達につながる。多くの人に伝わるように、正しく漢字を使用することが、一般でも使用することが可能な当て字の作成に繋がる。そのためには人々の漢字への理解、及び作成者側の人々の持つ漢字に対するイメージへの理解が必要とされる。

また、今後の展望として、中国人観光客や台湾人観光客には、それぞれの国によって同じ漢字でもニュアンスや意味が違う場合があるため、簡体字や繁体字を使う国々の文字に対するイメージを把握することが、最優先の課題である。

### 6. 参考文献ならびに参考Webページ

隠岐國学習センターHP <http://okilc.dzen.ed.jp/>

漢字辞典オンライン <https://kanji.jitenon.jp/>

食材辞典HP <https://column.asken.jp/dictionary/foodstuff/page/9/>

泉鏡花 (1942).『鏡花全集 卷二十七』.岩波書店.